

2016.
9.9
~10.8



大村美術館 大村智蔵作品展

2016.9.9 | 金 | ~ 10.8 | 土 |

休館日 / 日曜・祝日

開館時間 / 午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料 / 無料

会場 / 110周年記念ホール(女子美術大学杉並キャンパス1号館1階)

主催/女子美術大学 後援/杉並区 協力/蕪崎市立蕪崎大村美術館、蕪崎市教育委員会、蕪崎市ふるさと偉人資料館

女子美術大学

〒166-8538 東京都杉並区和田1-49-8 女子美術大学杉並キャンパス

TEL.03-5340-4500 URL.<http://www.joshibi.ac.jp/>

本展に関するお問い合わせ

TEL.03-5340-4658



女子美術大学

左 大村智名誉理事長 写真提供 蕪崎市

右上 三岸節子《花 軽井沢にて》1962年 ©MIGISHI

右下 郷倉和子《春響》2002年 ©GOKURA KAZUKO

葦崎大村美術館収蔵作品展

大村智女子美術大学名誉理事長(以下大村智名誉理事長)は1935年、山梨県北巨摩郡神山村(現葦崎市神山村)に生まれました。山梨大学学芸学部卒業後、夜間部の高校教諭として教鞭を執る傍らで東京教育大学(現・筑波大学)の研修生となり、その後東京理科大学大学院に進学して研究活動に励み、1965年に北里研究所に入所します。その後、同所において数々の先端的研究を発表し、2015年にはノーベル生理学・医学賞受賞に到りました。しかし、大村智名誉理事長の活動で目立つのは研究者としての業績のみではありません。幼少期より芸術に親しみを持っていたことが機縁となり、1997年に女子美術大学の理事長に就任すると、父母と教職員からなる「ニケの会」、退職教職員からなる「徳の花会」などの設立に携わります。父母・教職員・同窓会が一致団結して学生を支援する「オール女子美」の理念の下、本学の発展を支えてくださいました。

本展では大村智名誉理事長のノーベル賞受賞を記念して、葦崎市立葦崎大村美術館所蔵作品と、葦崎市ふるさと偉人資料館からお借りした貴重な資料を展示し、研究者としての足跡、女子美術大学における功績をご紹介します。

葦崎大村美術館とは

葦崎大村美術館は2007年に設立されました。2008年には作品とともに建物とその敷地が葦崎市に寄贈され、現在約1800点を超える美術作品が所蔵されています。大村智名誉理事長は美術作品の収集も盛んに行っており、同館には本学卒業の女性作家を中心に、貴重な作品が多く展示されています。女子美術大学とは2008年に相互協力協定を締結しています。

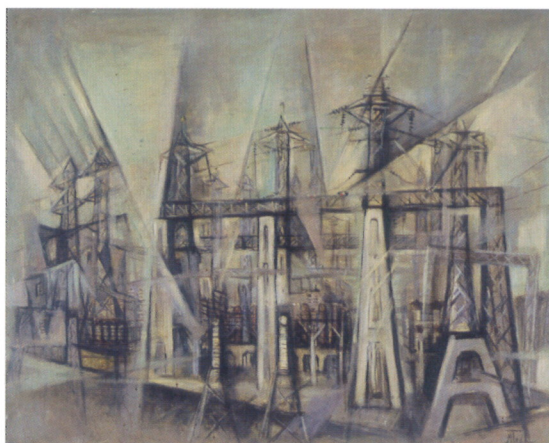


写真提供 葦崎大村美術館

〒407-0043 山梨県葦崎市神山村鍋山1830-1
TEL.0551-23-7775



片岡球子《牡丹》制作年不詳



多田美波《変電所》1956年



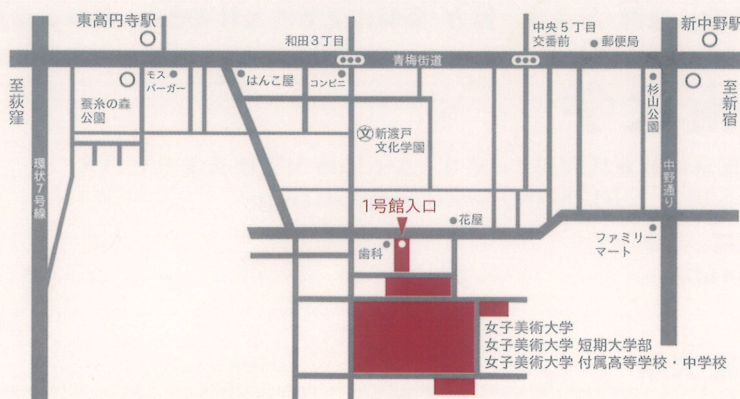
堀文子《秋炎》1970年頃

女子美術大学

〒166-8538
東京都杉並区和田1-49-8
女子美術大学杉並キャンパス
TEL.03-5340-4500
URL.<http://www.joshibi.ac.jp/>

本展に関するお問い合わせ
TEL.03-5340-4658

交通案内 東京メトロ丸ノ内線/東高円寺駅 下車徒歩約8分



●本学には駐車場はございません。公共交通機関をご利用いただくか、近隣のコインパーキングをお使いください。